競会だよし

119 号 平成27年(2015年) 5 月 1 日 編集:議会だより編集委員会 発行:三 浦 市 議 **〒**238 − 0298

神奈川県三浦市城山町1番1号

☎ 046(882)1111内線462 · 463

第1回定例会

崎高校跡地利活用について議論が

定例会の経過と概要

祭り[笠懸(かさがけ)]]

				_ •										
月日	曜日	会	議	名	内容									
2月25日	水	本会議			会期の決定、施政方針									
26⊟	木	本会議			一般質問									
27⊟	金	本会議			一般質問									
3月2日	月	本会議			一般質問、議案の審議(説明・委員会付託)、 予算審査特別委員会の設置									
3 ⊟	火	総務経済	常任雾	受員会	議案・請願・陳情の審査									
4 ⊟	水	都市厚生	常任勢	美員会	議案・陳情の審査									
6 ⊟	金													
9 ⊟	月	- - 予算審査特別 3		F P A	辛安の京本									
10⊟	火	ア昇番宜	行列多	2月云	議案の審査									
11日	水													
16⊟	月	財政問題	等特別	委員会	三浦市の財政問題等に関する審査									
19⊟	木	本会議			議案の審議(総務経済・都市厚生・予算審査の 各委員長報告・質疑・討論・採決)、決議案、三 浦市の財政問題等に関する審査について(委員 長報告)、委員会提出議案(説明・採決)、議員 提出議案(説明・質疑・討論・採決)、意見書案、 人事案件(監査委員、固定資産評価審査委員会 委員、人権擁護委員)、閉会中継続審査申し出、 報告、議長並びに市長あいさつ									

答弁 市制施行六十周 年記念事業を目玉事業 にして、三崎魚市場の 高度衛生管理化や二町 谷埋立地への企業誘致、

も、三浦の子供たちの

市民版ふるさと納税

何か。

附をしてもらうという をアピールしながら寄 なく、三浦市の特産品 度な競争をするのでは 答弁 他の自治体と過

考えである。

正予算に対する附帯決議が可決されました。 会計予算をはじめとする全二十九議案を審議しました。 三日間を会期として開かれました。 平成二十七年第一回定例会は、 今定例会では、三浦市景観条例や平成二十七年度各 また、最終日には平成二十六年度三浦市一般会計補 二月二十五日から二十

〈議会だより第119号の内容〉 定例会の経過と概要 ………1面 予算審查特別委員会 ……1~2面 常任委員会 ………2面 一般質問 ………3~6面 請願・陳情の審査 ………6面 議会の活動から …………6面 財政問題等特別委員会 ………6面 議員定数条例の改正 ………7面 本会議における討論 ………7面 附带決議 ……7 面 可決した意見書 ………7面 委員会条例の改正 ………8面 人事 ………8面 臨時会、定例会の予定 ………8面 議案等の審議結果 ………8面

予算編成における重点 重点施策は 重点施策は

取り組むのか。

な施策だが、どのように

石 松 小 藤 神 \mathbb{H} 原 林 田 原 正敬直 眞 司樹昇弓 宣

歳入確保策 進めていきたい。 行って理解を得ながら るので、丁寧な説明を 関する提案を受けてい が、進出予定の事業者 の影響は考えられる 歳入確保策として有効 からは地域との連携に 質問 ふるさと納税は

答弁 市内の商店等へ るのか。

別委員会

寺 出

田口

_

樹

託され、四日間にわたり審査されました。人の委員で構成する予算審査特別委員会に付及び企業会計(病院、水道)の予算議案は、七公共下水道、第三セクター等改革推進債償還)健康保険、後期高齢者医療、介護保険、市場、甲成二十七年度の一般会計、特別会計(国民 算審查特別委員会 ~議案の審査概要~

響をどう考えてい 出が予定されて

では では では でいく。 取り組んでいく。 取り組んでいく。 舗の進 いるが、市内の商店へ

らに周知を進めたい。 いう目的を示して、さ ために寄附金を使うと (その他の質疑項目) ついて 公共下水道使用料の 象年齢引き上げに 人口減少の抑制策に 引き上げについて 小児医療費助成の対

三浦市議会の情報はホームページから

七

検 索、



収納率を上げるための 取り組みについて る主な要因について 市税収入が減少してい 三崎高校跡地の財産貸

し付け収入について

市の職員数削減に対す る考え方について の周知方法について

障害児者の支援につい

の対応について 生活保護の不正受給 健康診査事業の内容に

農林水産業費

種苗放流事業に係る予 算額の減少について

三崎下町地区駐車場対 検討について ンセンター設置箇所の

通学路の安全対策工事 予算の確保について

消防広域化に向け

た課

り組みについて

況と対応策について 有害鳥獣による被害状

市道の維持補修に係る

第 119 号

社会保障・税番号制度

高について

後期高齢者医療制

案には賛成できない

後期高齢者医療事業

制度自体に反対である。 している後期高齢者医療 年齢で医療差別を

介護保険料の引き上げ

援総合事業への移行に

図ってほしい。

するなど、十分な対応を

マニュアルを作成

公共下水道事業 ユールについて

改正する条例

議会への説明について 同整備に関する事項の 基本協定について けて契約候補者と結ぶ 交流センター整備に向 三崎高校跡地での市民 減額理由について 備にかかわる事業費の

後期高齢者医療広

等に関する条例の一部を ◎三浦市職員の育児休業

水処理に関する検討 げについて

今後のごみ減量化 の取

について

観光インフォメーショ

策事業の内容について

新について 消防ポンプ自動車の更 題と検討について

介助員の配置について 特別支援学級の教員 就学援助制度は、

けていた世帯には、より 厳しい制度になった。 いる。これまで支給を受 のの支給額が削減されて 対象基準が拡大されたも

公債費

・二十七年度末の市債残

国民健康保険事業

されているので、本予算 度にかかわる予算が計上

◎三浦市行政手続条例の

◎平成二十六年度三浦市

育児休業の取得があっ

た場合の補充について

の人数について

般会計補正予算(第六

部を改正する条例

本案は、行政手続法改

包括払いなどの制

定の整備を行うものです。 新設するほか、所要の規 び処分等の求めの制度を 政指導の中止等の求め及 正の趣旨にのっとり、行

行うものです。

(質疑の主な項目)

特別養護老人ホーム整

債務負担行為等の補正を

一千円を追加するほか、

(質疑の主な項目)

行政指導の中止及び処

分等の求めがあった場

介護予防・日常生活支

合の対応について

ついて

にかかわる事業スケジ 市場の高度衛生管理化

下水道使用料の引き上

児休業等を取得するこ 本案は、非常勤職員が

早期に進めてほし 西南部地区の生活 とについて、必要な規定

(質疑の主な項目)

対象となる非常勤

職員

会最終日に附帯決議が提

★本案に対しては、定例

整備を行うものです。

債償還事業第三セクター等改革推進

の取り組みについて

発公社解散の尻ぬぐいを している会計である。 本会計は、 土地開

病院事業

地域医療にかかわる病 医師を招へいするため 院間の連携について

が行われました。 ◆質疑終了後には、

の支給基準が変わり、 由として、就学援助制度 ○小林委員から反対の 支 理

給水管布設整備等に対 るための検討について する補助制度を創設す

国民健康保険事業特別会計

由として、保険料の上限 ○小林委員から反対の理

討 論

将来の財政健全化も勘案

が述べられました。

◎平成二十六年度三浦市

改正する条例

に関する条例等の一部を

◎三浦市教育長の給与等

議案の審査概要~

の設定を行うものです。 本補正は、

法律の一部改正に伴い、

の組織及び運営に関する

本案は、地方教育行政

する条例

整備を行うものです。 条例五件について規定の

定の整備を行うものです。

(質疑の主な項目)

市内にある小規模多機

能型居宅介護施設の数

の改正に伴

い、必要な規

協議について 山町消防通信指令事務協 議会規約の変更に関する ◎横須賀市・三浦市・

れぞれ一億九千六百六万

本補正は、歳入歳出そ

ものです。 市及び葉山町と協議する ることについて、 事務協議会規約を変更す 本案は、消防通信指令 横須賀

(質疑の主な項目) 本件に係る横須賀市、 葉山町の状況について

めるものです。

◎三浦市景観条例

整備を行うものです。

(質疑の主な項目)

介護予防・日常生活支

援総合事業におけるサ

・ビス単価について

制度の改変と保険

の一部が崩壊したこと

でした)

内での行為の規制等を定 (質疑の主な項目) 条例制定により期 本案は、景観計画区域 れる事項について 待さ

されている本案には反対 域連合への負担金が計上

> 由として、歳入増加策 給額が大幅に減ること等 ○神田委員から賛成の

した予算編成に努めたこ 歳出削減策に取り組み、 と等が述べられました。

特別会計後期高齢者医療事業

~~~<del>~~~~</del> 出され、全会一致で可決 が引き上げられること、 しました。 (決議は七面

市場事業特別会計補正予 算(第三号) 繰越明許費

でした) (質疑は特にありません

(質疑の主な項目)

伴い定めることとなっ 教育委員会制度改革に た教育施策に関する大 一今回の制度改変は、

部を改正す

·る条例

◎三浦市下

水道条例の一

について

を開くことが懸念される 成できない。 ◎三浦市介護保険条例の ものであり、 教育行政の政治支配に道 本案にも賛

を補うために、下水道使

計で見込まれる財源不足

本案は、下水道事業会

業の実施に関し、規定の 防・日常生活支援総合事 改定を行うほか、介護予 部を改正する条例 本案は、介護保険料 用料の改定を行うもので (質疑の主 増収額について 使用料引き上げによる な項目)

きない。 び和解につ げで賄うことには賛成で 財源不足を使用料引き上 ◎損害賠償 意見 下水道事業会計の 本案は、 いて (三件) 小学校の学校 額の決定及

### 介護保険事業 ○小林委員 から反対の理 **耒特別会計**

担が増加することが述べ

られました。

療事業特別会計に支援金

本会計から後期高齢者医

由として、一 なることが述べられまし が一七・六%の値上げと ら介護保険料の基準月額 一十七年度か

債償還事業特別会計第三セクター等改革推進

由として、本会計がずさ

な二町谷埋立事業が原因 んな土地先行取得と無謀 ○小林委員から反対の理

### 由として、 公共下水道事業特別会計 ○小林委員 から反対の理 一十七年度は

由として、後期高齢者医

○小林委員から反対の理

サービスに関する基準を ◎三浦市指定地域密着型 料の引き上げを内容とす 三%値上げされ、市民負 下水道使用料が一六・一 る本案には反対する。 た。 です。 あることが述べられまし の尻ぬぐいをするもので による物品損壊等につい 手方との和解をするもの て、賠償額の決定及び相 で解散した土地開発公社

・景観審議会の構成員に

述べられました。

自体に反対であることが をするものであり、 療制度は年齢で医療差別

制度

型サービスに関する基準 定める条例の一部を改正 本案は、指定地域密着 りませんでした) (二件とも質疑は特に

計補正予算(第二号) 国民健康保険事業特別会 ◎平成二十六年度三浦市 本補正は、歳入歳出そ

意見 後期高齢者医療制 円を減額するものです。 から、後期高齢者支援金 度に反対をしていること れぞれ三百二十九万八千

◎平成二十六年度三浦市 正予算 (第三号) 本案に反対する。 事業費が計上されている 介護保険事業特別会計補

でした) 追加するものです。 れぞれ七十三万六千円を (質疑は特にありません 本補正は、歳入歳出そ

◎市道路線の認定、 及び変更について

三路線の廃止及び四路線 の変更を行うものです。 (質疑は特にありません 本案は、四路線の認定、 身の公約であり、二十七

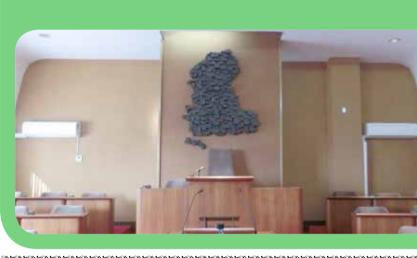
対象年齢の引き上げは自 |市長|| 小児医療費の助成 について伺いたい。 事業の対象年齢引き上げ

年度は小学校五年生まで

# 質問と答弁の要旨

います。 や説明を求めたり、疑問をただすことをい 般質問とは、市政全般にわたって報告

について市側の考えをただしました。 今定例会では、十三人の議員が市政運営



# 子育て支援の充実を

日本共産党 立本 介護保険、市民の健康づくり

②問 少子高齢化が進行 真 須 美 実に進めたい。

画に沿って着 おり、実施計

育て世代を応援している。 て各自治体では小児医療 費助成事業を実施し、子 する中、少子化対策とし 第六期介護保険事業計画 介護の要支援一・二 今回の制度改正で

中で、

市民の健康づくり

が重要だと

や元気でいてもらう政策

の対応を伺いたい。 する総合事業へ移行する り離され、市町村が実施 律の介護保険給付から切 ことになる。本市の今後 の認定を受けると、現行 プ等のサービスは全国一 の訪問介護やホームヘル

七年度の小児医療費助成

本市における平成二十

の二年間の猶予期間を活 用 総合事業実施まで 準備が整い次第、

機会をつく

には六年生までの引き上

げを予定している。

早期に移行したい。

の確保に努めたい。 者と十分に意見交換等を ビスを提供している事業 移行後も、現行のサ ね、サービスの質と量

質 問 健康づくりと介護予防 高齢化が進行する

ている。 痛切に感じ 自宅から

に取り組む や介護予防 健康づくり 活用して、 区の会館を 行きやすい

れないか。

治体間で競争

本制度は自

するものでは ないと考えて

気軽に通える会場をふや るよう支援を行っている。 健康寿命の延伸につなが ン事業を定期的に開催し、 ップ教室、ふれあいサロ 館等を利用して、元気ア 市長市の施設や区の会 今後も高齢者が歩いて

防事業の充実を図りたい。 し、健康づくりや介護予



### 質問平成二十七年度は、 計画策定、プレミアム付商品券 公明党 藤田

として、にぎわいのある 地区になるよう期待した けて本格的に事業がスタ の市民交流拠点整備に向 県立三崎高等学校跡地で トするが、市の中心地

きする。 でのスケジュールをお聞 今後の契約から開業ま

行う。平成二十八年から 既存施設の撤去工事等を 業者と事業契約を締結し、 政策部長 七月以降に調査・設計、 本年六月に事

版総合戦略との統合を視 せ、改定に当たっては、 改定作業をスタートさ が、この具体的な考え方 野に入れると述べている 地方人口ビジョンと地方 二十七年度に総合計画の をお聞きしたい。 市長 まち・ひと・しご

将来的見通しを踏まえた、 ているが、これは人口の と創生法に基づき、地方 合戦略の作成が求められ 人口ビジョンと地方版総

ている。 年四月の供用 開始を目指 手し、二十九

市民交流拠点整備

昇

(2) 市長は施政方針で、

品券発行事

アム付き商 でもプレミ て、三浦市

sossossossos

施設整備に着

識している。 総合計画と であり、お

冊一万円で

という認識 計画にしたほうがメリッ り、進行管理上、一つの 定することが可能である 略を一つのものとして策 国も総合計画と総合戦

客観的指標 おむね本市の に基づく戦略

を示してお 致すると認

商品券を二万千五百セッ 経済部長 施するのか。 業を行うことになった ト発行する。 二〇%のプレミアがつく が、どのような規模で実 また、現時点では、三

となり、七月に発行する

浦商工会議所が実施主体 予定である。



性化策とし

域経済の活 により、地 らの交付金

商品券発行 質問国か

があると考えている。

# 海水浴場での災害対策

学校の安全、観光客誘致

みうら市政会 出口

いる。 客数は徐々に戻ってきて 響により落ち込んだ来遊 質問東日本大震災の影

対策を協議していく。

たい。 要な取り組みだと思うが として、観光資源である 海水浴場での対応を伺 海水浴場の津波対策は重 来遊客を迎える三浦市

われている。 難経路、避難場所につい 布や、海水浴場内での避 災害時避難用マップの配 経済部長 てのアナウンスなどが行 海水浴場では、

> も継続して災害時の避難 眞琴 れまでの取り 地区海水浴場 組みを推進す るほか、三浦 対策協議会で 今後は、こ

学校内の防犯

必要がある。 日の大半を過ごす学校は、 安全な環境が確保される 質問 児童・生徒等が一

たず、学校安全の重要性 中学校での防犯について の侵入事件などが後を絶 状況を伺いたい。 が増しているが、 市長 外部の方が校舎に 近年、学校への不審者 市内小

今後の観

入る際には名簿の記入や

皆さんや他

民間、

をお聞きし 致の取り組 観光施策の展

着実に観光客数が り組みが進められ、 崎エリアの観光の プンや城ヶ島・三 ふえてきて 核づくりなどの取 小網代の森 **宣** 古本市 のオー では、

たい。 企業 み方針 光客誘 いる。 開 自 

思っている。

に外国人観光客の誘致を 目的としたトップセー 平成二十七年度は、特 i

時の対応に

いて確認を

練を行い、

全職員で非常

の声かけをしている。 職員が積極的に来校者へ 名札の着用をお願いし、

> 的なシティ・セールスを 体との連携によって効果

展開することが重要だと

また、定期的に防犯訓

している。

スを行う予定である。

安全な海水浴場に

姿勢をお聞きしたい。

に対する基本的な考え方、

本方針では、

最終的な設

三浦市の生活保護制度

課後児童クラブ設置等基

# 税金の使い道は

下町の駐車場、

寺田

フォーラムみうら

第 119 号

納めている税金に対して う声が聞かれる。これは、 (2) よく市民の中から |浦市は税金が高いとい

税に対しての理解が得ら ムページでは市民の皆様 れるように努めてほしい。 との対話を行うなど、納 情報提供し、時には市民 われ方などを積極的に 三浦市のホー

いうことが背景にあるの けていると感じにくいと 市民に税金の仕組みや 市長

ワンデーパス 表とPRに努めたい。 ように考えているか。 鎖することが伝えられた 渋滞が見受けられる。 の観光客が訪れ、休日に 駐車場の閉鎖 いる。 が、この代替施設をどの (2) 三崎地区には多く 町商店街の駐車場を閉 本年三月をもって三崎 樹 今後も継続した公 等を公表して リーフレット 三浦市の財政 目で見る

> について働きかけ 土地の有効な活用

体すると伺っているので、

相応の行政サービスを受

# あったかいまち

\*\*\*\*

申請に来た

は駐車場待ちに起因する

ではないか

所の新会館建設予定地で 駐車場は、三浦商工会議 三崎下町商店街 果が見られた。

は予定されていないが、 ら建設に向けた作業に入 あり、平成二十七年度か この代替駐車場の設置 閉鎖される。

市内の回遊性を高める

消防

に、予算・決 にわかるよう

市内全域を対象としたワ ための新たな発想として、

みうら市政会

草間

道治

るように検討 を進めたい。

> の策は何かを検討するこ くまでも子供たちに最善 てきているが、これはあ

いている。

設置するものと県から聞

るとともに歩道を山側に について、車道を拡幅す 松輪住宅付近までの区間

とであり、

統廃合は前提

また、市営松輪住宅付

としていない。

削減が見込め

化などにより 人件費全体で

資料をもと

協議を行っ

人員効率

の推移や通学距離等の

学校の統廃合、改良工事

は大変効果があると思う う施策を広げていくこと ンデーパスを提案したい。 ので、ぜひ研究をしたい。 市域全体でこうい

商工会議所は新会館への

現在の会館を解



消防次長

①消防特殊車

はないか。

両の更新計画見直し等に

されている。

体に求めることなどが 下で、統合の検討を自

よる費用の削減や、

災害

給与体系の違いは広域化

②横須賀市、三浦市

規模・適正配置などに関

五号(江奈湾付近)の改

した公立小中学校の適正 質問 文部科学省が公表

県道の安全対策

現在、

県道二百

+

する手引案では、

小中学

の検討の妨げになるので

校ともに一学年一学級以

るが、この められてい 良工事が進 お聞きしたい。

広域化によるメリットを と取り組んでいる消防の 質問

①現在、横須賀市

三浦市での検討は

対象の拡大を 質問 城ヶ島では

昨年、 性の向上などの結 より行われ、回 の社会実験が県に するワンデーパス 用しても四百円と 車場を一日何回 六カ所の駐 遊 利

校区の検討を進めたい。 などを把握し、設置小学

開催された。 平和への取り組み ・周年・三浦市民集会が 和都市宣言を行ってお 昨年はビキニ被災六 本市は核兵器廃絶

置がされて 平和モニュ メントに設 が寄贈され、 かれた銘板

まち」の要素の一つであ

お聞きしたい。

保健福祉部長

三浦市放

ると考える。

民にとって「あったかい とができる市役所は、市 市民が困窮を抱えたとき

成三十一年までに二つの 援事業計画の中では、平

曽有の貧困が覆っている。

具問 今、日本社会を未

貸問子ども・子育て支

施設の新設

日本共産党 石橋

むつみ

学童保育、平和行政

切な対応を行 市民には、適

っている。

に、訴え、相談に行くこ

と示されているが、どの 学童保育施設を設置する

器廃絶平和都市宣言の

この主催者からは核兵

ように具体化をするのか

り 器廃絶に取 浦市が核兵 組んで 今後も三

必要な保護を行い、自立

が困窮する国民に対し、

が決められている。

制度は、

事情により生活

保健福祉部長

生活保護

ラブであることや、新た 置目標は一小学校区一ク

に設置する際の基準など

を助長する制度である。

小学校の利用希望児童数

くことを、

この基準をもとに、

改めて表明してほし \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

された。 る記念碑とともに三浦市 の平和の象徴が機能強化 式を行い、同じ場所にあ 平和都市宣言銘板の受納 市長 二月に核兵器廃絶

引き続き取り組みたい。 恒久平和の実現のために、 もあり、核兵器の廃絶と 本年は被爆七十周年で



政的なデメリットになる

スライドさせることは財

②横須賀市の給料表に

えられる。

対応力の大幅な強化が考

校の統廃合の検討につ

61

したい。

況をお聞き と現在の状 工事の概要

三浦市における小中学

てお聞きしたい。

活用については、企業が || || 三崎高校跡地の利

フォーラムみうら

出口

防犯灯のLED化、

今回はA地区を整備する。 当該跡地に集積する計画 とが示された。 敷地をA・B地区に分け 整備するべきではないか 中に市民交流センターを には、移転する市役所の があるようだが、財政的 市役所などの公共施設を 市長の施政方針では、 三崎高校跡地は、

下町振興 整備 正雄 旨であり、市 B地区を市役 するという趣 地として検討 所移転の候補 施政方針は、

建設するスーパーマーケ ットの二階部分に市民交 設であるため、先にA地 流拠点の形成に必須の施 民交流センターは市民交 区で整備を行う。

災害への備えも 質問 安全・安心なまち

> 様になって 陽電池をつ

流センターを整備するこ

システムにしてはどうか。 電源の要らないソーラー とを考えて、避難のかな 高台に避難する場合のこ 導入されることになった。 めとなる場所の防犯灯は、 夜間に地震が発生し、

支援が不可

後継者の養

経営者の

適正規模について、児童 は、小学校の適正配置・ |教育長||中学校の統合後 \*\*\*\* 市民部長 近から市営 崎小学校付 の L E D 工事は、 都市環境部長 ×8×8×8×8×8 化に 剣

けている。 より事業者 募型プロポーザル方式に 現在、防犯灯 から提案を受 に向けて、公

器具に交換することが基 防犯灯をLEDの防犯灯 今回の募集は、既存の

必要があると思う。

性化策を打ち出していく で、本当に効果のある活 さんと協議をしていく中



全ての防犯灯にLEDが

がシャッタ

づくり推進のため、市内

質 問

政の支援

思うが、 商店街を含めた多くの皆 ではないと思うが、下町 市長 行政の支援あり いかがか。

力をお願いしている。 て地元に対して事業の協 が計画されている。 近には、バスベイの設置 現在は、県・市におい 消防署引橋分署 É

聞きしたい

応を図っている。

援を受けられるように対 必要に応じて専門的な支 政策部長学校現場では、

庭教育支援チームの登録

導入を目指

基本構想も見直すことに

における役

また、文部科学省の家

光協会を中

れていると聞いている。

小網代の森、埋立地の売却 日本共産党 小林

長は、 観光振興

※は欄外に説明を記載

直樹

策定すると述べている。 科書的な役割を果たす 施策を展開するための教 観光振興ビジョン」を 策定に当たっては、事

は考えているのか。 者をメンバーとした委員 会を設置するようなこと だと考えるが、計画策定 段階で、それらの関係 現時点では、

くるのではなく、三浦市 委員会のような組織をつ \*\*\*\*\*\*

> いくことを考えている。 意見を集めて ョップを開催 心にヒアリン して、必要な グやワークシ 早期の対応を ②問 二町谷埋立地を早 に分譲するためには、 |後の管理方法を検討し 市としては、今後、設

### 施設の整備

備後、 と聞くが、この内容をお 整備に関するものがある が課題として残っている。 年度予算案にはトイレの ているが、トイレの整備 神奈川県の平成二十七 多くの方が来遊し 小網代の森は、

県の整開保を変更

このためには、

必要である。

企業も誘致できる

さないという事態が生じ 立候補者数が定数を満た

点だと思う。

市民が奮い

根に次ぐ神 きれば、横 くり事業は

具現化がで

ている新たな観光の核づ

奈川県の第

てほしいという、その一 ありったけの希望を語っ 水産業関連以外の

ような条件整備が

し、その後に二町

業者や関係団体、市民の

きをかりることが必要

うための予算が盛り込ま 置に向けた予備調査を行 初予算に、本設トイレ設 市長県の二十七年度当

作業を並行して行 ならないが、この を変更しなければ 谷地区の地区計画

えば、整開保と地 都市環境部長 例

活発な活動は、地域の教 力の充実につながると られた。この 制度で、本市 くためにも必要不可欠だ 域であると思っていただ な配慮により提供される との連携や保健師の細か が必要であり、医療機関 て出産、育児ができる地 三浦市が安心し

がら子育て支援を続けて が互いの役割を認識しな 三浦市では、行政と民間 いくことが重要である。 子育て支援のうち、妊 出産に対する支援は 社会資源の少ない

スがある。三浦市での家

庭教育に対する支援をお

身がどこに支援を求めて を持つ家庭では保護者自

いのかわからないケー

庭教育だと言われている。 育と並んで重要なのが家

期待している。

育

学校教育、

社会教

みうら市政会

神田

ような団体の

核家族化が進み、子供

取り組むべきではないか。 医療機関や行政を中心に 非常にデリケートであり、 出産につい

ては、確かな医療的知識

の登録が認め 子育て応援団\_ の「はっぴー

行政の役割、城山地区の利活用

と思う。

方針策定の検討

るような経 層の観光客 有地につい 区周辺の市 で、城山地 は施政方針 て、より一 質問 的機能 加に資す

出産の支援

せて、 区計画の変更手続におけ る法定縦覧の時期を合わ となどが考えられる。 同時に告示するこ 希望が持てる三浦市

たい。 変更できるよう取り組み るだけ早期に地区計画が 手法を検討して、 でき

フォーラムみうら

北川

年

の序章になる

経済活動が活発になる

たときが滅び が希望を失っ

始めてお

り、これによ

特区を目指した取り組み

本市はいち早く六次経済

のではないか

ことを願っ

ている。

市政の展望は

たとき、また

戦略特区に指定されたが、

は町に住む人

質問

現在、

一部の地方

と思っている。

議会議員の選挙で

が市長に期待するのは、

したがって、三浦市民

の活性化な

を目標に進め

また、城

ヶ島・三崎地

うが、私は「断じてそん はないのかと思ってしま 未来はなく政治どころで 者がいなくなり、 地方では産業が廃れ、若 が推測されている。 そういった自治体の増加 今後の統一地方選でも、 気を持ち合わせていない なことはない」と言う勇 その町で希望が失われ そういったことから、

明るい

的な状況は多いが、逆境

少、産業の衰退など悲観

|市長| 三浦市は人口の減

市として多

四の観光都

をお聞きしたい。

立つような、市長の考え

えるよう、既に多方面に

市民に希望を持ってもら を逆手に反転攻勢に転じ、

思う。

ただけると にお越しい くのお客様

わたって種をまいている。

神奈川県が国家

跡地での新

×8×8×8×8×8

立三崎高校

また、県

essessessessessesses

討の進捗状況は。 り組むと表明したが、 した利活用方針策定に取 検

討を行っている。 用方針の策定に向けた検 トの実施時期や利活 | 現在は、市民アン

みうら市政会

総合計画、

用方法の導入を目指した 万針策定をしていきたい。 もたらすような施設や利 下町地区に経済効果を

市長

効果的な活用を(城山地区 地区の皆様にも丁寧に説

備を断念したことは、財 谷地区への汚水処理場整 整備事業について、二町 質問 西南部公共下水道

政的見地から大いに評価

を送る若者 ないが、社

齢者までを

できる。

求めることが必要である。 がないままの表明は余り 浦市全体の生活排水処理 の見直しを、初声・三崎 建設を断念した中で、三 市長 二町谷への処理場 | 寧な説明をして理解を に一方的であり、市民に しかし、代替案の提

生涯学習 石 原 正宣 ている。 分注意し、 ご指摘は

市

教育ビジョ

ンの策定

民の皆さんに理解をい だきながら進めた

行き届いた学校教育の必

質問 子供たちに対する

合戦略は、総合計画と統 することになれば、当然、 理解してよろしいか。 基本構想を見直して、 合を図ることが示されて 合戦略と総合計画を統 市長 人口ビジョンや総 口ビジョンを盛り込むと いる。これは総合計画 計画の整合は 人口ビジョンや地域版総 質問 今後策定する地方 0

を取り入れ

生涯学習

()

いて、教

可欠である。

明をしながら 検討するとい う方針も出 たい。 らに情報を収

年度内に判断をしていき なると思うが、今後、さ 集した上で、 は認識している。

要であると考えている。 したビジョンの策定が必 れた、教育全体を対象と 生涯学習の視点を取り入

ョンの策定に当たっては、



きく、重要性もあること 今後、三浦市教育ビジ

鎌倉・箱

れを原動力として市政に 夢や希望を忘れずに、そ 邁進していきたい。 るものではない。しかし、 まな取り組みがあるが、 とを期待している。 成し、市の象徴となるこ は、三浦市の一体感を醸 たな市民交流拠点の誕生 一朝一夕に成し遂げられ そのほかにも、さまざ

※整開保……都市計画法に基づく「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」

固定資産税の税収などが

町谷への企業誘致

平成二十七年 されるので、

度からの企業

誘致活動に生

観光誘客、財政健全化

期分譲を目指すと述べて

る。

調査の結果を生かして早

市にとってチャンスであ 掲載されたことは、三浦 ジャポン』に三浦半島が

と述べている。 取り組みを進める

市長は、内閣府による

いるが、状況はどうか。

市長内閣府の調査は、

が手を結んで宣伝をして

行政と京急、各種団体

いくべきだと考えるが、

地の売却が決まらない。

来を担う財政改善策だと

企業誘致は、三浦市の将

見問 二町谷埋立地への

連携した取り組みを

質問 外国人観光客向け

みうら市政会

中谷

博厚

かしたい。

考えるが、依然として土

ユラン・グリーンガイド

日本旅行ガイド『ミシ

# 三崎高校跡地の利活用

市役所移転、

小網代の森

フォーラムみうら 松原

その中に市民交流センタ て、物販施設が建設され、 地区)の土地活用によっ が整備される予定であ 三崎高校跡地 Â

のメリットは何なのか、 人市民税や建物にかかる の発信、雇用の創出、法 の特産品販売や観光情報 る店舗網を活用しての市 ットとしては、設置され 政策部長 三浦市のメリ (体的にお聞きしたい。

このことによる三浦市 ては、 市長 を伺いたい。 について、市長の考え方

なければならない。 活用するためには、最初 に市役所庁舎の建設をし 敬司 の公共用地を に三浦市全体 土地の活用 質問 将来的

検討をすると打ち出して 校跡地への移転も含めた 施政方針で三崎高 庁舎の移転につい

たことも含めて検討をし 階ではないが、そういっ ていきたい。 て方針を固めるという段 これは明確な目的とし

観光資源に 質問 現在、

挙げられる。

て捉えた取り組みをして 網代の森を観光資源とし びつけるために、 いるが、三浦市経営に結 には多くの方々が訪れて 小網代の 市は小

案内表示などは設置され ているのか。 人を三崎下町に誘導する 小網代の森を散策した ほしい。

引橋周辺への庁舎建設

だけるよう 観光消費額 な誘導策は、 行っていた 三崎下町に 代の森から の方に小網 市長多く

ながるので、 の向上につ

> 組んでいきたい。 結果を出せるように取り 例えば、下町までの

話は実際に聞いているの 向など、細かい表示がも ことから行いたい。 をしている方や観光客の ご意見をもとに、できる で、現地でボランティア っとあるといいというお |時間やバス停のある方



, reservante and reservante

ャポン』効果をPRして ン・グリーンガイド・ジ るので、ぜひ『ミシュラ 体の参加をいただいてい 初め、京急さんや各種団 いきたい。

めている。

徐々に業務の委託化を進 \*\*\*\*\*\*\*

ことから、委託した場合 に市民サービスの不均衡 活に密着した事業である ごみ処理業務は市民生

より財政健全化 ウトソーシングに 業務の委託化 市長は、ア

理業務に民間委託 長の考えは。 だと考えるが、 の導入を図るべき するため、ごみ処 歳出削減に寄与

務は、 充の方針のもと、 市長 ごみ処理 退職者不補

調整をしている。

二月末に報告書が

提

出

進には県や地元城ヶ島を

査結果が得られるように

新たな観光の核づくりに

り組んでいる。この推

市長現在、

城ヶ島では

業者ヒアリングを行うな

どうか。

一町谷埋立地に関する事

ど、本市の必要とする調

などが生じないよう、 分に留意したい。

区面300㎡以上(面積等応旋可) 10 | 17 | 広大な二町谷の分譲地

財政問題等に関する審査 年に設置され、三浦市の を行ってきました。 当委員会は平成二十三

委員長から審査報告が行

三月定例会最終日に、

市の財政問題の解消に資 た。この審査内容につい するため設置されまし 行部が情報を共有し、 て、概要を申し述べます。 ▼当委員会は、議会と執 ▼まず、三浦市立病院の 本

経営に関することです。

加価値のつけ方等につい

ての意見がありました。

去る三月十六 心に議論を行 民交流拠点整

日の委員会

して審査を終了しました。

~審査報告

5

二十五年に埋

制づくりなどについての べき役割や漁獲物への付 論が交わされました。委 員からは、行政の果たす 役割について集中的に議 業の振興と三崎魚市場の 質疑がありました。 り組みや出産ができる体 の検証を行いました。委 営状況の報告を受け、 に関することです。 員からは、 ▼次に、三浦市の水産業 審査では、特に沿岸漁 審査では、担当から経 訪問診療の取 ح

掲載します。

われましたので、

概要を

本件に関しては、平成 です。 立地の売買 谷埋立地に 解除という

関連すること

次に、二町

ことです。 や今後の予 財政推計の 市の財政状 いての質疑

がされました。 算執行等につ 財政への影響 では、契約解 経過があった 契約の成立、

除による市

です。

況に関連する ▼次に、三浦

審査では、

費負担適正

ての質疑が

委員会の席上で申し上げ して意見を取りまとめ、

ました。

市民への説明責任を果た すために議論を深め、一 エック機能として、また ▼当委員会は、行政のチ

利活用に関することです。

審査では、

(仮称) 市

備事業を中

いました。

▼次に、三崎 ありました。 化計画につい 見直しや公債

高校跡地の

### • 陳 情 0

請

願

◎横田めぐみさん拉致事件に関する陳情

付した文書について、適法な執行を要望し ています。 本陳情は、陳情者が警視庁警視総監へ送

# ◎地球社会建設決議に関する陳情書

することを求めています。 本陳情は、「地球社会建設決議」 を決議

以上二件 審議未了)

◎ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充

についての陳情書 医療費の助成等について、 本陳情は、ウイルス性肝炎患者に対する 国及び国会に意

見書を提出することを求めています。 (了承できるもの)

情五件は引き続き継続審査となり、議員の任期満了 に伴い、 なお、常任委員会で継続審査中の請願一件及び陳 四月三十日に審議未了となりました。

## 查

議会の活動から

を開催しました。 性化」をテーマに協議会 「三浦市 水産業等の活

生プラン」の事例と今後

まれている「浜の活力再 区と上宮田地区で取り 活性化のため、

城ヶ島地

組

の展開が紹介されました。

その後、

市内各地域の

課題等について質疑応答

行

われました。

等特別委員 開催されま 員を対象とした協議会が 三月十六日に財政問題 した。 会により全議

要項目として、三崎漁港 的活用等に 減災対策、市場の競争力 業等の活性化に向けた重 を受けまし 強化、二町谷地区の多目 の高度衛生管 部長から、 その中では、水産担当 *ک*ر ついての説明 理化や防災・ |崎地区水産

また、市 内沿岸漁業の

ため、審査 ついて質疑がされました。 住民との調整等の課題に 者に関することや、周辺 地の利活用に関すること ▼次に、旧三崎中学校跡 決定した契約候補

に関しては、当委員会と 題や市民アンケートの実 特に利活用方針の検討等 施、市役所機能の移転等 について質疑が行われ、 審査では、財政的な課

定度の結果を得たものと

削減する本議案に反対する。

ある。

る。

すること。

# 議員定数条例の改正案を可決

議員定数を十五人から二人削減

責任が求められること等

挙から、議員定数を十五 数で可決しました。 浦市議会議員定数条例の れ、審議の結果、賛成多 十人の議員により提出さ 部を改正する条例」が 本議案は、次の一般選 定例会最終日に、「三

例の改正については八面 しています。 を変更することを内容と に記事を掲載) (委員会条

藤田 昇議員から、市内 で行いました。 まず提案の理由として、 議案の審議は、 本会議

の景気や市の財政状況な そして、

が説明されました。 議案に対する

ることを求める。

また、下水道使用料が値上げされ、市

討 論

反

定められた委員会の定数 浦市議会委員会条例」に すること、あわせて「三

層の財政健全化に向けた

どを踏まえ、議会にも一

環境の向上と三浦の海を守るために、西

水処理場整備を断念したとあるが、生活

える。施政方針には二町谷埋立地での汚 民負担は四年間で一億五千六百万円もふ

南部地区の下水処理計画を早急に作成す

ることを求める。

人から二人減の十三人と

### 日本共産党 小 林 直

るが、議員定数が二人減ることで、 案という、大きく四つの役割があ 行機関への民意の伝達、政策の立 意思の決定、執行機関の監視、執 市議会には、団体(地方自治体)

とが求められている。 民のために、この役割を果たすこ 三浦市の地域経済と市民生活は厳 この役割が低下するおそれがある。 しい状態が続いており、議会は市

制民主主義を守ることができる。 議員報酬を引き下げるほうが議会 機会が奪われてしまう。 の分野や階層から議員を選出する では、定数を削減するのではなく、 以上の理由により、議員定数を また、定数が減ることで、多く 市財政の支出を減らすという面

樹

賛

が求められている。 これまで以上に行財政改革の推進 厳しい財政状況が続く本市では、

出削減効果があることは極めて重 二人減らすことで約二千万円の歳 進が求められており、議員定数を また、市民からは議会改革の

選挙では、三人減でも決して議会 今まで以上に民意を吸い上げ、行 の機能は低下しなかったと思う。 に、議員一人一人の資質の向上を 政の監視や政策立案を行うととも 今後は、議員定数を削減しても、

成 討 論

低下が危惧されているが、前回 議員定数の減による議会機能

平成26年度三浦市一般会計

図って議会を十分に機能させるこ

みうら市政会 草 間 道 治

補正予算(第6号)に対する附帯決議

今議会において、県立三崎高等学校跡地に建設される市民

交流センター借上料の期間及び限度額を追加する債務負担 行為の補正を含む「議案第10号 平成26年度三浦市一般会計

県立三崎高等学校跡地の利活用は本市の重要課題であり、

また、一昨年の二町谷埋立地売買契約では最終的に契約の解

除という結果となったことを踏まえ、今後行われる基本協定

や事業契約の締結等に当たっては、執行機関の監視機能を有

する議会として、その内容を十分かつ慎重に議論する必要が

業〔A地区〕に伴う基本協定あるいは事業契約の締結等に際 し、適法・適正な事務執行に万全を期すとともに、議会及び

市民に対し十分な情報提供を行うよう強く求める。

拡充等を求める意見書

れば認定されないという実態がある。

患者が相当数にのぼっている。

よって、市側におかれては、(仮称)市民交流拠点整備事

可決した意見書(概要)

現在、肝炎は国内最大級の感染症であるが、ウイルス性肝 炎患者に対する医療費助成は、B型・C型肝炎に対する抗ウ

イルス療法に限定されているため、助成対象から外れている

障害者手帳)は、認定基準が厳しく、重篤な病態に陥らなけ

また、身体障害者福祉法上の肝疾患の障害認定制度(身体

よって、国においては、次の事項を実現するよう強く求め

ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設

2 身体障害者福祉法上の肝疾患による身体障害者手帳の

認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にするこ

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の

補正予算(第6号)」が提出され、可決された。

とで、市民から信頼される議会に していくことが重要である。

えが問われました。 ました。 の議員から討論が行われ について議案提出者の考 エック機能への影響など ることの根拠や市政のチ から、削減数を二人とす 質疑では、小林直樹議員 また、採決前には二人

### 平成二十七年度は、就学援助制度の支 日本共産党 小 林 直 樹

**不会議における** 

討論

議案第十四号 平成二十七年

**烃二浦市一般会計予算** 

反対討論

みうら市政会 石 原 正

を確保している。 処理や消防の広域化にかかわる事業費等 休廃止、職員人件費の削減により、 るさと納税制度の活性化による収入増や、

は果り一額組

の改定事業等が行われる。 度衛生管理化対策事業、三浦市総合計画 アム付商品券発行事業や三崎魚市場の高 以上の内容から賛成の意を表する。

状況が続いているが、職員が一丸となっ

三浦市の地域経済と市民生活は大変な

て、市民の生活と営業を守ることが重要

賛成討論

宣

増加する扶助費等の福祉関係経費、ごみ 徴収の強化による税収増を見込んでいる。 価の下落、 を各種基金から補塡することに加え、ふ いという厳しい状況の中で編成された。 その中で、歳入では、市税収入の減少 歳出では、経常的経費の削減や事業の 地域経済の回復もままならな 年々

また、国の交付金を活用して、プレミ

平成二十七年度予算は、 人口減少や地

底「あったかいまち」とは言えない。

就

給額が大幅に減額されるが、これでは到

学援助制度を充実させて、全ての子供た

ちが安心して教育を受けられるようにす

山 観 利 と 積 光 活 六 致を 公を初め、三崎漁港での高度衛生管理化最重要課題の二町谷埋立地への企業誘 、次経済 しているが、 0) 用、広域幹線道路整備事業、新 核づくりなど、さまざまな課題が の推進、 市長と職員が 旧三崎中学校 一丸とな 跡 たな 地の

公明党 藤

賛成.

討論

田 昇

みを行 定の評価に た、 加、 に基づき、 が約二億四千九百万円となったこと 合った財政規模と、 資産の処分、事業の縮減等の取 財源対策検討委員会による取り い、その結果、 ができる。 人件費の削減や税外収入 容により編成している。 増収・削減効 それに見 合っ

の 組 増 み

(提出先) 内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、 参議院議長



### 一議会を展聴しませんか

改選後初の議会となる臨時会は、5月の中旬ごろに招集され、 正副議長や各委員会委員の選出などを行います。

平成27年第2回定例会(6月)の日程は、臨時会開催後に決まりますので、三浦市議会だより第120号(6月1日発行予定)や三浦市議会ホームページからご確認ください。

今後提出される請願・陳情は、第2回定例会で審査されます。 そのほか市議会に関することは、議会事務局までお問い合わせ ください。



定数が・ とに伴 行 会六人に改めまし また、 つました。 十九九 務経 求 政法の施行に伴 員会の教育長」に 0 例が改正され、 |委員長| 都 浦 中の 済常任 6,1 条 十三人になるこ 市厚生常 市議会議員定数 の施行に伴い、改正地方教育 (出席) 委員定数を を 委員会七 教 教育 育委員の説明の 任委員 議員 た。

仁 藤 千枝里人権擁護委員

松原隆文氏国定資産評価

監査委員

長

治

克

行

氏

擁護委員 及び ことに決しました。 は異議なき旨答申する 原案のとおり 求める諮問 とにつき ため 委員会委員を選 市 固定資富 の議 長 か 案並 議会の意見を を推薦するこ が提出され、 産 立びに人権 同 評 任 価 査 する 審査



### 本会議での議案等の審議結果

氏

### 〈全員賛成で議決した議案〉

### 【議案】

- 第1号 三浦市景観条例
- 第3号 三浦市行政手続条例の一部を改正する条例
- 第4号 三浦市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 第6号 三浦市指定地域密着型サービスに関する基準を定める条例の一部 を改正する条例
- 第8号 損害賠償の額の決定及び和解について
- 第9号 損害賠償の額の決定及び和解について
- 第12号 平成26年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- 第13号 平成26年度三浦市市場事業特別会計補正予算(第3号)
- 第18号 平成27年度三浦市市場事業特別会計予算
- 第21号 平成27年度三浦市病院事業会計予算
- 第22号 平成27年度三浦市水道事業会計予算
- 第23号 市道路線の認定、廃止及び変更について
- 第24号 横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会規約の変更に 関する協議について
- 第25号 監査委員の選任につき同意を求めることについて

第26号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

### 【諮問】

第1号 人権擁護委員の推薦について

### 【決議案】

第1号 議案第10号 平成26年度三浦市一般会計補正予算(第6号)に対 する附帯決議

### 【委員会提出議案】

第1号 三浦市議会委員会条例の一部を改正する条例

### 【意見書案】

第1号 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充等を求める意見書

### 〈賛否が分かれた議案〉 ○賛成 ●反対

|                 |                        |                   |             |       | みうら   | 市政会   |       |       | フォーラムみうら |         |      |      | 日本共産党 |       |       | 公明党   |     |
|-----------------|------------------------|-------------------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|---------|------|------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 番号              | 件                      | 名                 | 審議結果        | 岩野 匡史 | 神田 眞弓 | 出口 真琴 | 草間 道治 | 石原 正宣 | 中谷博厚     | - 寺田 一樹 | 出口正雄 | 松原敬司 | 北川年一  | 石橋むつみ | 立本眞須美 | 小林 直樹 | 藤田昇 |
| 【議案】<br>第2号     | 三浦市教育長の給与<br>例等の一部を改正す |                   | 原案可決        |       | 0     | 0     | 0     | 0     | 0        | 0       | 0    | 0    | 0     | •     | •     | •     | 0   |
| 第5号             | 三浦市介護保険条例<br>する条例      | 列の一部を改正           | "           |       | 0     | 0     | 0     | 0     | 0        | 0       | 0    | 0    | 0     | •     | •     | •     | 0   |
| 第7号             | 三浦市下水道条例の<br>る条例       | つ一部を改正す           | "<br>"<br>議 |       | 0     | 0     | 0     | 0     | 0        | 0       | 0    | 0    | 0     | •     | •     | •     | 0   |
| 第10号            | 平成26年度三浦市-<br>算(第6号)   | 一般会計補正予           |             | 議     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0        | 0       | 0    | *    | 0     | •     | •     | •     | 0   |
| 第11号            | 平成26年度三浦市<br>業特別会計補正予算 |                   | ″           | 長は    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0        | 0       | 0    | 0    | 0     | •     | •     | •     | 0   |
| 第14号            | 平成27年度三浦市-             | 般会計予算             | "           | 表決    | 0     | 0     | 0     | 0     | 0        | 0       | 0    | 0    | 0     | •     | •     | •     | 0   |
| 第15号            | 平成27年度三浦市<br>業特別会計予算   | 国民健康保険事           | "           | に加わ   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0        | 0       | 0    | 0    | 0     | •     | •     | •     | 0   |
| 第16号            | 平成27年度三浦市征<br>事業特別会計予算 | 後期高齢者医療           | ″           | らない   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0        | 0       | 0    | 0    | 0     | •     | •     | •     | 0   |
| 第17号            | 平成27年度三浦市分<br>別会計予算    | ↑護保険事業特           | //          | ,     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0        | 0       | 0    | 0    | 0     | •     | •     | •     | 0   |
| 第19号            | 平成27年度三浦市公<br>特別会計予算   | ·共下水道事業           | ″           |       | 0     | 0     | 0     | 0     | 0        | 0       | 0    | 0    | 0     | •     | •     | •     | 0   |
| 第20号            | 平成27年度三浦市<br>改革推進債償還事業 | 第三セクター等<br>特別会計予算 | "           | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0        | 0       | 0    | 0    | •     | •     | •     | 0     |     |
| 【議員提出議案】<br>第1号 | 三浦市議会議員定数<br>改正する条例    | <b>女条例の一部を</b>    | ″           |       | 0     | 0     | 0     | 0     | 0        | 0       | 0    | 0    | 0     | •     | •     | •     | 0   |

※ 表決の際、退席。